

# 平成 26 年度 学校運営の基本構想

明日の登校を待ち望む修学院第二小学校をめざして  
～ すべての児童のために すべては児童のために ～

※ 自分の夢をしつかりともち、その実現に向けて、確かな学力を身につけ、  
思いやりの心をもち、健康でたくましく行動する子どもを育てるため、取り  
組むべき課題を学校・家庭・地域が共有し、「明日の登校を待ち望む学校づ  
くり」を徹底して行う。

— 一人ひとりを徹底的に大切にする教育 —

## 学校教育目標

確かな学力・豊かな心・健やかな体の育成  
— 家庭・地域との共渙 —

## めざす学校像

- 「勉強がわかる、活動が楽しい学校」
- 「自分が認められ、安心して生活できる学校」
- 「信頼できる、大好きな教職員がいる学校」
- 「保護者・地域に信頼され、共渙の教育活動のある学校」
- 「学校教育目標を具現化する学校」

## めざす子ども像

- 確かな学力を身につける子ども
- 自分の思いを表現できる子ども
- 人、自然、ものに優しくできる子ども
- 進んで健康的な生活を送る子ども
- 進んできまりを守る子ども
- 進んであいさつができる子ども

## めざす教職員像

- 子どもの命を守りきる教職員
- 確かなビジョンと力量をもつ教職員
- やさしく厳しい姿勢で人に接する教職員
- 共通理解したことは最後までやり切る  
教職員

## 《学校教育目標の具現化に向けた取組の柱》

☆ 基礎・基本的な知識・技能の確実な習得とその活用を目指した学習活動の充実(確かな学力) ー国語科・算数科を通してー

### ◇普通授業の充実

- ・わかる授業、できる喜びを十分に味わうことのできる授業の構築
- ・子どもたちが主体的に学び、確かな学力を身につける授業の構築
- ・言語力(思考力・判断力・表現力)の育成
- ・協力指導体制の充実
- ・LD等支援の必要な子どもの学力向上

### ◇子どもが主体的に取り組める家庭学習の工夫・改善

(家庭学習の手引き等の活用)

- ・家庭学習の習慣化を図り、各学年に応じた家庭学習の実施

☆ 豊かでたくましくやさしい心の育成(豊かな心)

### ◇「いじめ」を許さない集団作りの推進

- ・学級集団作りと教職員のきめ細かい見取りを徹底し、未然防止に向けての取組を充実

### ◇人権学習の一層の充実

- ・自尊感情を育み、他人を思いやる心、共生の心の育成

### ◇規範意識・道徳実践力の向上と定着 (総合単元的な道徳の時間)

- ・相手を大切にする言葉遣い・あいさつ、きまりを守る意識の高揚

### ◇支援を必要とする子どもへの全校的な指導体制の徹底

- ・全教職員の子ども理解、課題の共有の徹底
- ・保護者、(スクールカウンセラー)、関係機関との連携

### ◇子どもの背景まで踏みこんだ子ども理解と指導の徹底

- ・家庭との連携、意図した家庭訪問、望ましい生活習慣の形成(早起きに特化した指導の継続)

- ・子どもと向き合う大切な時間の確保(見通しをもった指導計画による時間確保)

## ☆ 健やかな体の育成（健やかな体）

◇進んで体を動かすことが大好きな子どもづくりの推進

- ・運動・スポーツの楽しさや喜びを味わえる体育指導の工夫・改善

◇保健教育の充実

- ・基礎基本の生活習慣の確立

（はやね・はやおき・朝ごはん 等）

- ・生活実態調査を活用し児童の実態把握・取組の推進

◇食に関する指導の充実

- ・心身の健康の保持増進をめざし、子どもの食生活の実態を把握

- ・食に関わる人々と食物への感謝の心の育成

- ・食物アレルギー・アナフィラキシーに対する正しい知識に基づく適切な対応

◇安全教育の充実

- ・危険を予測し、適切に行動できる力の育成

（生活安全・交通安全・災害安全）

◇防災教育・防災管理の充実

- ・危機管理マニュアルに基づく訓練の充実

（主体的に行動する態度の育成・支援者意識の向上）

## ☆ 地域ぐるみの教育の推進（家庭・地域との共汗）

◇学校・学年・学級だより、ホームページ等による学校・学級の取組等の情報発

信の推進

◇家庭・地域との協働体制の充実と推進

- ・学校運営協議会推進部会との連携

- ・教育支援ボランティア推進

- ・課外活動の充実や地域スポーツ活動との連携

- ・保幼小中連携の取組の推進

- ・コミュニティ・ティーチャーの計画的導入や地域行事への積極的な参加

◇学校評価システムを生かした運営の推進

- ・「育てたい子ども像」と「評価」の共有と行動